

平成29年度 町政懇談会 利田地区

I. 日時・場所等

1. 開催日時 平成29年6月26日(月) 午後7時～午後8時30分
2. 開催場所 利田公民館
3. 出席者 立山町 舟橋町長、朝倉副町長、大岩教育長、山元総務課長、
青木住民課長、青木教育課長、小野商工観光課長、
山本水道課長、舟橋農林課長、竹島建設課長
地元議員 岡田健治議員
利田地区振興会 米田俊信副会長、村井副会長、佐伯副会長
企画政策課 清水課長、寺崎課長補佐、瀬本係長、林主事、佐伯主事、
大前主事
4. 参加者数 68名

II. 実施内容

1. 挨拶

- ①司会 清水企画政策課長 開会
- ②舟橋町長(以下、町長) 開会挨拶
- ③利田地区自治振興会副会長 挨拶
- ④司会 出席者紹介

2. 懇談会

- (1) ・立山町公共施設等マネジメント計画について 企画政策課長
・富山連携中枢都市圏について 企画政策課長
- (2) 地区からの協議事項

◎ 学校駐車場や通学路に防犯灯と防犯カメラの設置を

【青木教育課長】

小学校南側に整備した駐車場には照明設備がなく、夜間は隣接箇所の防犯灯を頼りに自家用車などを探しておられると聞いています。冬季までには駐車場の照明設備について、予算要求し対処したいと考えています。

次に防犯カメラについては、昨年度、国の学校の防災教育と安全対策に関する事業に申請し、先日、利田小学校の校舎2箇所の設置決定の内示があったところです。今年度中に学校の意向を踏まえて設置します。

駐車場の防犯カメラ設置は、すべての学校施設に関する事案ですので、全体を通して考える必要があります。関連する国や県の支援事業があれば検討していきます。

【青木住民課長】

防犯灯については、毎年各地区から多くの設置要望があり、現在約130灯の要望となっています。新規要望については、雄山中学校PTAとも協議しながら、中学生の自転車通学

路となっている地区間で防犯灯が未設置の場所などに、新たに年間5灯程度を設置する予定です。なお、今年3月に曾我地区に1灯設置しています。

◎ 富立大橋線の沿線開発・促進整備

【小野商工観光課長】

富立大橋周辺においては、交通の利便性など立地条件が良いため、開発が進んでいるところです。今年度、農業振興の方向性や農振除外地域の見直しなど、整備計画の検討を行うため、基礎調査を行う予定です。また、まちづくりの将来像を示し、用途地域の設定等を決める「立山町都市計画マスタープラン」を修正するための基礎調査を行うこととしています。

企業誘致の現況は、立山イノベーションパーク内の敷地面積の約83%を占めており、パーク内で働く従業員の方は、6月1日現在で469名です。町外在住の方が多いですが、町が行ったアンケートでは、利田地内に条件が合うアパートがあれば住みたいという方が約6割おられました。

町としては、この結果を不動産会社などに伝え、民間での宅地造成やアパート建設の検討材料として活用いただくとともに、立山町に転入いただけるよう、新たな制度の検討を進めています。

◎ 町道利田田添線 日水交差点における信号機設置

【青木住民課長】

信号機の設置については、警察署において交通量や道路の条件などを調査した上で、富山県公安委員会に上申し、最終的には富山県公安委員会が設置の判断を行っています。今回の要望を上市警察署に上申します。

しかし、近年、信号機設置の要望はなかなか実現しないのが現状ですので、町として県町村会を通じて富山県に信号機設置に係る予算を増額するよう要望しているところです。

【竹島建設課長】

この交差点は、西側から東側へ下り坂になっている県道と斜めに交わっていることから、カフェニコさん側のすみ切り部が非常に狭く、中学校へ通う自転車などが溜まるスペースがない上、県道から左折する車に巻き込まれる危険性があります。

信号の設置もさることながら、歩行者等が溜まれるスペースを確保するよう、すみ切り部の拡幅整備について、道路管理者であります県のほうへ町として要望していきたいと考えています。

◎ 小学校のメンテナンスの実施について

【青木教育課長】

利田小学校体育館の床メンテナンスについては、平成22年度に床のワックスがけとコートのライン引きを行いました。

現地を確認したところ、傷みは見受けられませんでした。学校でワックスの上から貼ったテープがはがれた箇所がありましたので、補修または撤去します。

床のワックス改修工事については、施行年度が重ならないよう計画的に実施しており、各学校の床の磨耗状況を確認し、損傷の著しい施設から順次実施していくこととしています。

校舎の外壁や破損については、現在、校舎内部への漏水被害はありませんが、今後、損傷箇所の拡大も想定されることから、今年度中に調査を行った上で予算要求いたします。

電動カーテンの不調部分については、早急に歯車などの調整を行い修繕します。

◎ 下水道の施工進捗、普及について

【山本水道課長】

町の下水道整備率は、平成 29 年 3 月末現在で、92.8%となっています。利田地区は平成 16 年に整備が完了し、整備率は 100%、水洗化率、接続率は 93.1%です。

平成 29 年度は、下段地区の金剛寺、向新庄、川原木一本木、下段集落、釜ヶ淵地区の沢中山、野村集落、立山地区の下田集落を整備します。

来年度以降は、整備認可区域を継続的に整備する予定で、舗装復旧については、下水道整備の翌年以降に実施する予定です。なお、国の交付金の状況によっては、整備計画を変更することがあります。

(3) 質疑・意見・応答

- ◎ この近くに 4 m 道路ぎりぎりにアパートが建っており、車がすれ違えるよう道路を拡幅した方がよい。シマヤの向こうは、今から碁盤の目のようにきれいに整備することが大事ではないか。整備が遅くなれば遅くなるほど、町の出費が大きくなる。

【町長】

八幡川の東側に民間会社が建てられたアパートで、その南北は今、西部土地改良区の管理用農道になっている、その道路幅が 4 m であるということですね。お気持ちはよく分かりました。

- ◎ 今年度、鉄道等維持事業に 1,408 万円使うことになっている。利益配当があるような鉄道会社に支払うより、立山ドンドン祭りや市姫神社の祭礼の時に、安い切符を町民に買ってもらい補助金としてはどうか。万葉線ではイベント時は帰りの切符が無料で、沿線自治体が経費を負担している。鉄道会社に対して欠損補助ではなく、お客が増えて収入が増えることに補助すべき。

高速バスのバス停を地鉄の田添駅か立山インターチェンジ近くに設けるとともに商業集積する。また立山町公共施設等マネジメント計画も合わせて施設を集約する。車を運転できなくなった高齢者の引きこもりを防ぐためにもよいと思うが。

【清水企画政策課長】

町では、富山地鉄立山線を町の大事な背骨ととらえており、魅力アップや乗り心地、快適性、そして安全が一番ですので、そういったことに支援しています。

国や県の事業を活用しながら、立山町だけではなく沿線市町村が負担割合に応じて、安全対策や乗り心地、それから魅力アップの事業に取り組んでいるところです。

【町長】

町が富山地鉄さんにお金を払う事業は、基本的に線路の枕木交換、橋梁の建て替え、車両の導入や修繕などで、富山地鉄さんが国に申請し認定されますと、立山町エリア、つまり寺田から立山駅までの線路の長さに応じて各市町村に費用負担の割り当てが来るものです。地鉄立山線が赤字だからといって補助金を出すとといった制度は、町としてはしておりません。

- ◎ 議会だよりで、町では防犯灯の新規設置について、中学校の自転車通学路のみを考えているとあった。今後は各集落で設置費や電気料、維持管理費も負担をお願いするとのことだが、地区振興会としては、町が LED 化し維持負担をすれば有効に活用できるし、集落間の防犯灯は、各集落ではなかなか設置できないので、町にお願いしたい。

利田金屋交差点周辺は、用地買収が困難ということで、日吉神社前から交差点までは、歩道が未整備となっている。周辺からは多くの中学生が自転車で通学しており、町で防犯灯を設置してもらいたい。

町広報や地域安全ニュースを見ると、平成 28 年度の犯罪率が、上市町や舟橋村は下がっているが、立山町はすごく上がっている。今年 1 月から 4 月までの犯罪件数も、立山町は増えている。防犯灯だけで犯罪が少なくなるわけでもないが、町で設置してもらいたい。

【青木住民課長】

平成 25 年度に町で防犯灯を LED にしましたが、この時、環境省の補助金をもらうには、防犯灯は町が所有していなければならないということで、地区から町へ寄附いただき、約 3,500 灯を改修しました。

町所有となりましたので、電気代もその時から町が負担しています。それ以前は各集落で設置されており、設置費の 1/2、電気料の 3/4 ほどを町から補助していました。町が直接防犯灯をつけるようになったのは、平成 26 年度からです。今後は地区と地区の間で自転車通学者が通る暗い道を優先的につけたいと考えています。

各集落で新たに設置するものについては、町から補助が出せるかどうか、検討していきたいと考えています。

- ◎ 金屋と立泉寺の集落間は、防犯灯が全くない。神社前から県道までと道路沿いの私の家の近くに設置されているが、暗すぎて全然だめだ。うちを含めて集落に何回か窃盗が入った。5 年前から要望しており、犯罪があったようなところには、つけてもらいたい。

自転車通学者や歩行者は、歩道未整備区間を通るのは、電柱があり車を避ける所がないので怖いと思う。田んぼに車が落ちた事故もあった。道路のライン敷設は難しいとのことなので、防犯灯だけでも何とかしてほしい。

- ◎ 立山町遺族会長を務めており、小学校で戦争体験や 100 年のいろいろな歴史を講義している。講義を受けた小学校 5、6 年生が、感想ノートを持ってきてくれたが、元々町内に無いような名前が非常に多い。町外の人がたくさん利田に来ていることは、富立大橋の効果が高いと思う。冗談かもしれないが、町のある課長が私に「四車線になったらライトレ

ール引っ張ってこられないか」という話をしてきた。その話を富山市長に話したら案外乗り気だった。明るい話題として提供する。

◎ 常願寺水系の上流にあるクリーンセンターでは、以前、東日本大震災のがれきを受け入れたと思うが、その後、定期的に地下水の調査をしているのか。

また最近、企業団地の造成が進んでおり、集落でイノベーションパークの説明会が数回あった。その中で造成地周辺は農地だが、土砂運搬等については白岩川水系の締まりのいい土砂なので、固化材を一切使わないということだった。その後、造成が進むにつれ、多量の固化材を使用したかと思う。塚越地区でも造成しているが、その周辺の土壌調査もしてもらいたい。六価クロムは目に見えない。飛散がひどかった。企業誘致周辺の土壌調査と水質検査を定期的にしてもらえるか。

【清水企画政策課長】

水質検査というのは聞いていませんが、土に関するダイオキシン、放射能レベルの検査は、定点観測していると聞いています。今のところ国の示す基準値は超えていないとのことです。

【町長】

塚越については、国土交通省が、国道41号線の上の方で、トンネルを掘りながらバイパス道路を作っており、その山の土をそのまま持って来ています。国交省さんのお墨付きです。なおかつ、埋める前に検査もしているはずです。

一番古くはタイヨーパッケージさんがイノベーションパークに来られた時で、町の下水道工事で出た残土を使いました。ある意味、ただだったから一番安くできたのです。

白岩川水系の話は、どの地面か、どの時の話かは、今わかりませんが、東谷地区に白岩川ダムがあり、溜まった土を県が掘り水抜きして持って来ます。

◎ 私たち夫婦は、後期高齢者になるので、もう田んぼはできない。イオン誘致の話を進めて欲しい。町長の腹ひとつと聞いている。どう思っているのか。

【町長】

どう思うも何も、本当にそう言われる方が多く、この十何年間、あなたの思いひとつだと言われます。農地を転用する許可の権限者は、4ヘクタールを超えると農林水産大臣です。

私が町長なりたての時に、この件について県庁へ行ったら、まちなかをしっかりやらないといけないと言われました。

農業振興地域の除外と農地転用という問題が法律上あるのです。権限は町には無いのです。法律に書いてあります。

閉会